



presented by  
KUSARI

R18  
Contents include

美月調教編

2

彼女が墮ちる理由



# 彼女が墮ちる理由 改訂版

2024年6月に彼女が墮ちる理由が改訂版に更新されバージョンアップ致しました。

全ページ修正された改訂版になります。

6月中旬以降に更に修正しver2の改訂版に変更されます。

アプリに既にDLされたものを

削除していただきver2の改訂版を再DLして頂きたいです。

お手数ですが改訂版への変更よろしくお願い致します。






久しぶりに美月と  
休日を楽しく  
過ごせるのは  
やっぱり嬉しいな

最近はお互いに時間が  
なくてデートとか  
できなかつたけど



日曜日は美月と  
デートか…



俺の彼女の雨宮美月は  
小さい頃からの幼馴染


人付き合いが良く  
明るくて美人で  
性格も良いとなれば  
男なら彼女にしたい  
のは当然だろう

美月は学園でも有名な  
美少女で中学生時代から  
数多くの男に告白されて  
いるのを俺は知っている

自分の彼女なのに  
こういうのも  
なんだけど  
高根の花だと思う


中学生の時にはお互いに  
もう幼さも消えていて

俺の中で美月は  
ただの幼馴染から  
恋愛対象に変わっていた




中学卒業間際でも  
俺は美月に告白する  
勇気がなくて

美月とはまだ  
幼馴染の友達の  
関係が続いていた



同じ高等学校に  
入学した俺たちは  
良い関係を保ちつつ  
学園生活を過ごして  
いたけど


校内での美月の  
評判の高さに日々焦りを  
感じていた俺は  
ようやく彼女に告白する  
ことを決意した



必ずしも勝算があった  
わけではないけど  
迷いはなかった

美月を他の男に  
取られたくない…

今までの自分の人生で  
一番緊張したけれど  
俺は美月への熱い想いを  
語り彼女に告白した




一世一代の告白は  
見事に実り  
俺と美月は相思相愛の  
恋人同士になれたんだ

恋人として付き合い  
始めたことよって  
俺たちは何度も楽しい  
デートを重ねた

付き合い始めて  
1年以上経った頃  
お互いの親には友達と旅行  
に行くという嘘をついて  
二人で泊りがけの海水浴へ  
出かけた

美月との初めての  
泊りがけの旅行で  
俺の心中はとてもしつやか  
ではいらなかったよ




高校生になって初めて  
見た彼女の水着姿は  
かなり衝撃的な魅力が  
あった

美月は服を着ていても  
わかるくらい  
胸の大きさがあつたけれど  
実際に水着で見ると  
その大きな巨乳の存在感に  
圧倒される


誰が見てもわかるくらい  
この魅力的な美少女が  
俺の恋人という事実  
自分が誰よりも幸せだと  
実感できる

その日の浜辺にいる  
どの女性よりも  
美月は輝いていて  
男たちの注目を集めて  
いたと思う

浜辺の男たちからナンパなど  
されないようにするために  
俺は美月から決して離れない  
ようにしていた




魅力的な水着姿の  
美月を見ていたら



人目をはばからず  
どうしてもキスをし  
たい衝動に駆られた

人の多い開放感のある  
海辺でキスすることに  
美月は少し戸惑っていた  
けれど

彼女は困ったように  
少し恥じらいながらも  
キスを受け入れてくれた



そしてついにお互い  
恋人同士として  
初めて一緒に過ごす  
夜がやって来た

この旅行で俺たちが  
性行為することは  
既に決まっていたし  
美月もそれは望んで  
いたことだ

お風呂上がりのあと  
浴衣の下はパンツ一枚の  
とても色っぽい姿で  
赤面しながら  
俺に微笑む彼女に  
つい見惚れてしまった

自然に手はおっぱいに  
吸い寄せられていき  
その感触を楽しむように  
何度も揉みしだしていた

あ…っ

あ…明人…  
やさしく…して

ん…っ

俺は震える手で  
彼女の浴衣を  
脱がした

美月の大きく綺麗な  
おっぱいが目の前に  
露わになり  
俺の鼓動はどんどん  
高まっていく

短い間キスをした後  
恥ずかしさはあったが

……っ

おっぱいをゆつくりと  
優しく揉みながら  
俺は美月にキスをする

俺は興奮して大きく  
勃起した自分のモノを  
美月の前に晒け出した

彼女は俺の愛撫に  
感じているのか  
少し身体が震えながらも  
初めてで慣れていない  
この拙い愛撫に  
身を任せてくれる



1回射精したけど  
興奮しすぎているせいか  
チンポの勃起は収まらず  
俺はすぐにコンドームを  
付けた

美月を寝かせて  
愛撫で十分に濡れた  
彼女のマンコに自分の  
モノをもっていき  
呼吸を整える

言葉では表せない  
お互いの緊張を感じつつ  
俺はゆっくりとチンポを  
挿入していった

俺の両手を握りしめて  
美月はまったく声を  
抑えることなく  
喘ぎ声をあげていた

はじめての挿入による  
痛みの声ではなく快感を  
感じている喘ぎ声だ

あ

あ

あアツ

あ...あつ

あんっ

んあつ

あはあ





すでに二度  
射精していたけれど  
俺のチンポはまだ  
萎えずに彼女を  
責めたてていた

あぁっ♡

あぁんっ♡

はぁ♡

あッ♡

俺は美月に騎乗位の  
体位でしたいと要望し  
慣れないながらも  
俺の上で動いてもらう

あぁっ♡

あぁんっ♡

だ…だめ…  
明人…っ

目の前で無防備に  
激しく揺れ弾む  
大きなおっぱいが  
俺を魅了する

おっぱい…を  
そ…そんなに  
揉まないで…っ

美月は少し嫌がっていたが  
つい巨乳の魔力に誘われて  
セックス中に何度も  
その豊かなおっぱいを  
揉みしだしてしまう

あんっ♡

あぁっ♡

あッ♡

あんっ♡

あ…っ♡

あぁっ

あんっ♡

あはぁっ♡

あはぁっ♡

あぁっ

んぁっ♡

あぁっ♡

あぁっ♡

イクっ♡

はじめは消極的で  
ゆっくりだった  
美月の動きが  
どんどん積極的になり

その様子を見た俺は  
彼女がこのセックスに  
対して嫌な気持ち  
無いのではないかと  
勝手に安堵していた

大きな喘ぎ声をあげながら  
俺の上で身体を震わせ  
美月の何度目かの絶頂…

今回のセックスで  
彼女の身体はとて  
も敏感で感じやすく  
イキやすいのがわかった

あ…あッ

明人っ♡

ああん

あぁっ♡

ブルンッ

ブルンッ

ブルンッ

ブルンッ

ブルンッ

ブルンッ

ブルンッ

ブルンッ

ブルンッ

ブルンッ

ブルンッ

ブルンッ



あぁっ♡

あ…あ  
明人…っ

だめ…っ  
これ以上は…  
わ…私…  
壊れちゃう…っ

あはあっ

はじめての性行為で  
何度も絶頂を迎え

あんっ♡

美月は心身ともに  
限界がきていたけど  
俺はまだセックスを  
継続させていた

もう…  
終わりにして…っ

あっ♡



ああ♡

美月…っ  
好きだ…っ！  
大好きだッ！

あんっ♡

あ…あっ

わ…  
わたしも…

この美月との  
幸せの時間を  
終わらせたくない

あ…明人  
大好き…っ♡

精力が続く限りは  
彼女とセックスを  
したかった



美月はそんな俺の  
望みにしっかりと  
応えてくれて

俺たちはその夜  
最高に愛し合った

俺の幼馴染である  
雨宮美月は  
世界一の恋人だ

お互いに疲弊するほど  
愛し合ったセックスは  
ようやく終わり  
愛しの美月は隣で  
寝転んで微笑みながら  
俺を見つめていた

俺も美月も笑顔になり  
初めての性行為はとても  
満足なものだったと思う

でも俺は彼女を  
見ながら思った…

今回セックスしたことで  
なんとなく美月の弱みが  
見えた気がする


初めての性行為なので  
ただ流されて従ってた  
だけかもしれないけど

もしそれが美月の性質だった  
ら俺以外の男が彼女の恋人に  
なっていた場合  
美月はその男に性行為で  
いいように身体を  
弄ばれていたのだろうか…

美月は普段は  
活発で気も強いし  
しっかりとした  
性格なのに

セックスをしている時は  
相手に全て身を委ねて  
従ってしまうところがある


でもそんな仮定を  
考えても美月の恋人は  
この先自分以外に  
いないのだから  
意味はないとも思えた



二人きりの旅行  
そしてはじめての  
セックス体験は  
俺たち二人の心の  
距離を更に近づけた

美月とはそれから  
何回もデートを  
重ねていき  
俺は幸せな毎日を  
過ごしている

俺たちが恋人同士という  
ことは学園内ではまだ  
知られていないので  
美月は学園の男たちから  
今も絶えず告白されてい  
るようだ



俺は付き合ってることを  
公にして周囲に認知して  
ほしいところだけど  
美月は冷やかされるのが  
嫌なので内緒にしたいらしい

でも校内をよく二人で  
いることが多いから  
気づいてる人もいると  
思う

美月の母親の麗子さんは  
すぐに気づいたらしく  
幼馴染の俺が娘の彼氏と  
いうことに喜んでいた



美月は俺から求めてくる  
性行為を一応受け入れて  
くれてるけど  
それが頻繁にならないよ  
うに注意された

でもセックスの時に  
なると彼女はすごく  
乱れ喘いでいるので  
俺との性行為に対して  
好意的に見える



あの旅行以降何度か  
親が家にいない時に  
美月を自宅に誘って  
性行為をした

あのセックスの  
快感がどうしても  
頭から離れなくて  
つい美月との性行為  
を求めてしまう



美月を他の男に  
奪われるなんて  
絶対嫌なので  
嫌われないように  
しないと……



ただし恋人に性行為を  
求めすぎて嫌われてしま  
い別れてしまうというこ  
事は聞いたことがあるの  
でそこは我慢して自重し  
なければいけないと思  
う

……いや  
断られてもいいから  
誘ってみようかな

今回は美月から  
誘ってくれた  
デートだけど…

美月も性行為に対して  
寛容的になってるから  
たぶん大丈夫だろう

お互いセックスする  
ことにもだいたい慣れて  
きたし

久々だし  
自宅に誘っても  
大丈夫だろうか

今日は麗子さんの  
誕生日だし  
お祝いのメールを  
しておこうかな

…ああ、そうだ

さすがに学生なのに  
そんなことしてるの  
バレたら怒られるかも  
しれないけど…

…美月と性行為してる  
ことは麗子さんには  
バレてないよな？

やっぱり今日  
美月の家に行って  
直接お祝いすれば  
よかったかな…

美月と二人で選んだ  
プレゼント喜んでく  
れるだろうか



彼女が墮ちる理由



ああ…っ

あ…あっ♡

あ…はあ

あ…っ♡

ああ…っ

ありがとうございます  
学園長  
俺に全てお任せください

はい…もちろん  
問題ありません  
こちらに関しては  
二週間あれば十分です



…ククク  
最高だな

ううっ

ん…っ

んっ



後ほどこちらの  
調教の進捗報告します  
ではまた…



二週間の…期間って  
…どういう…  
ことなの…?  
私を…どうする気  
なのよ…っ

しかし組織で動く  
本当に楽しいな

俺一人でお前を拉致して  
性奴隷にしようとしても  
すぐに捕まる可能性が  
高いが…

組織の力を借りれば  
お前のような学園のアイドルを  
楽に自分のものにする  
ことができるってわけだ

ん…っ

んう…

ん…んっ



オイ…美月  
今のを  
聞いたか?

俺たちのために  
二週間の期間を  
頂いたぞ

…っ



…二週間…?

これでしたら  
二人でたっぷりと  
楽しむことができるぜ

あんっ

あぁっ

あっ

あっ



もつと愛し合えば  
俺から離れられなく  
なるぜ…

あんっ♡

あっ♡

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル



絶対に  
逃がしはしない

んっ♡

ブル

ブル

んっ♡

んうっ♡

お前はもう俺から  
逃げられない

ムニョッ

ムニョッ

ムニョッ



…っ  
私は…あなたの  
女じゃない…っ

雨宮美月は  
俺の女だからな

んっ♡

くっ♡

うっ…う



…このままでと  
だめ…おかしく  
なっっちゃう…っ

あんっ♡

あ…はあ

ブル

ブル

ブル

ブル



自分が淫らで  
いやらしい女だと  
わからせてやる

あっ♡

だめ…っ  
そこ…  
触らないで…っ

あ…っ

あ…あんっ

ブル

ブル

ブル



どうだ？  
この装着バイブは  
気に入ったか？

媚薬で感度が  
上がった身体には  
かなり効くだろ

あん♡

あ…あつ

あつ♡

あつ♡

ああつ♡

ググググ…ッ

はあ♡

もう…  
だめ…っ

外して…  
お願い…っ



ククク…っ

まだ外すわけには  
いかねえな

この装着バイブも  
その目隠しも  
お前を調教するための  
ものだ

ずっと継続する  
バイブ責めは  
気持ちいいだろ？

もっと快感を  
受けいれるよ  
美月♡

あはあつ

ひあつ♡



な…なにこれ…っ  
どんどん…動きが  
強く…なってる…ッ



あ…っ

ああッ♡

あん♡

あっ♡

ああっ

あはあ♡

だめえ…っ  
振動が…強く…っ

ハハハ…っ

時間経過でバイブの  
振動は強くなるように  
しておいたからな

お前がイクまで  
止めてやらんぞ

ほらっ  
イク時はイクと  
しっかりと見えよっ

俺が聞こえるように  
言わないとバイブは  
止めないからな…っ

わ…わたし…

もう…

イ…イク…っ

いつちやう…っ♡

あ…あ♡

んあっ♡

ググググッ♡

ああっ♡

びくっ♡

びくっ♡



びくっ♡

あぁ♡  
びくっ♡  
びくっ♡

あぁ♡  
あぁ♡

びくっ♡

あぁ♡

あぁ♡  
あぁ♡

あはぁ♡

あぁ♡  
あぁ♡

あぁ♡

あん♡

あぁ♡

よしよし...っ  
はしたない喘ぎ声だが  
良いイキっぶりだったぜ♡



ああ…

んんっ

ああ…こんなこと  
するなんて…  
本当に…最低…っ

ああっ♡

あ…あっ

はじめてアナルに  
ローターを  
挿れられた気分は  
どうだ？

アナルを開発して  
おけばもつと楽しめる  
ようになるからな

こんなの…  
嫌よ…っ

お尻に…挿れるなんて  
気持ち…悪い…っ

ん…う

んっ♡



あ…

ああっ♡

だめ…っ

それを外して  
ほしいか？

んん…っ

え？

くうっ



それを取り外して  
ほしいなら  
俺に奉仕するんだ

しっかりと  
愛情をこめて  
フェラチオしろ

お前がいやらしく  
喘ぐ姿を見てたら  
チンポがまたピンピンに  
なっちまったからな

そ…そんなこと  
言われても…  
見えない…っ

お前の眼の前で  
啜えてほしそうちに  
待ってるぞ

早くしろ…っ



そうだ…いいぞ  
そのまま丁寧に  
啜えこめよ

お前を悦ばせて  
くれる最高の  
チンポ様だからな

あんなに…  
射精したのに  
まだ勃つなんて…  
ありえない…っ

んあ…ん

あ…はあ

はあ  
はあ  
はあ

あん…っ

ん…んっ



いいぜえ…  
はじめの頃より上手く  
なってるじゃねえか  
覚え込みが早くていいぞ

早く…終わらせて  
すぐに…  
外してほしい…っ

んふっ

んん…っ

んん…っ

んっ



積極的に  
フェラチオしてくれて  
俺は嬉しいぜ…美月♡

ククク…  
美味しそうに  
啜え込んでるな



まあこれだけ愛されれば  
俺のチンポを好きに  
なるのは当たり前だが

ちがう…っ  
こんなもの好きに  
なっ…っ

オイ…っ  
もうすぐ射精すぞ  
溢さず全部  
飲み込めよ

うう…っ  
気持ち悪い…

あはっ

あ…っ

少しでも吐き出したら  
お仕置きだからな

しっかりと飲み込んで  
俺の極上のザーメンを  
味わうんだ

んぐ…っ

んんんっ  
ゴクッ♡

はあ

はあ

こ…これを  
毎日なんて…  
そんなの嫌…っ

よおし…全部飲み  
込んだようだな

あ…はあ

んあ…っ

これから毎日  
飲ませてやるから  
楽しみにしろよ

まだ…こんなに  
たくさん  
射<sup>で</sup>精るなんて…  
信じられない…っ

これくらいじゃ  
俺の性欲は収まら  
ないからな

まだお前の調教を  
楽しませてもらうぜ

いつになったら…  
この男の無尽蔵な  
精力は尽きるの…？



バイブで責められるのは気持ちいいかあ？

ほらほらっ どうだ…っ！

だめえ…っ 快感で…頭が… 痺れちやう…っ♡

よしよし バイブ責めにも慣れてきたようだな

ああ…っ♡ き…気持ち…いい…っ♡

気持ちいいかと聞いているんだよっ！

あ♡

あアッ♡



お尻の…中のもの

取ってくれるって  
言ったでしょ…っ

はあ

とって…っ！

ハハハ…ッ

だめだ…っ  
しばらくはそれを  
挿れたままにする

あっ♡

ああっ♡

これからアナルも  
どんどん開発して  
弄っていくからな

あんっ

う…  
嘘つき…っ  
最低…っ！

しかし…一気に墮とす  
ことができると思っただが  
なかなか上手くないかな  
ようだな

性奴隷として  
ここもしつかりと  
使えるようになら  
ないとな♡

ああ…ッ♡

あっ♡

だめ…っお尻…  
弄らないでえ♡

あッ♡

やめてよ…っ  
あん…やだ…っ  
ああ…ッ♡

あア♡

こいつが壊れないように  
何回かやって楽しんだ後  
しばらく休ませたが

媚薬の効果が時間経過で  
弱まったせい  
理性が戻っているようだ

あの媚薬を全部  
使えば確実に  
堕とせるだろう

お前のマンコから  
愛液がタダ漏れしてる  
のがよく見えるぜ♡

あんっ♡  
はあ  
はあ

あ…ッ  
ギョッ

だがあの高価な薬を  
あまりむやみに  
消費したくないな

あ…嫌…っ  
見ないで…っ

ああっ♡

あはあっ  
ギョッ

ギョッ

ギョッ

あアッ♡  
びくびく

もう…  
ゆるしてえ♡

あッ♡



あんっ♡

なにが  
ゆるしてだあ？

こんなに膈内なで  
締め付けておいて  
よく言うぜ…っ

はあっ  
はあ

もし他の女にも  
あれを使用すれば俺の  
性奴隷を増やすことが  
できるかもしれない

今までのこいつの  
乱れっぷりを見れば  
あの媚薬が本当に  
強力ですこいものだと  
よくわかる

あんっ♡

そ…そんな  
ことない…っ♡

ああっ♡

ギョッ

ギョッ



媚薬の量を抑えても  
このまま毎日じっくりと  
調教して快楽漬けにすれば  
堕とせそうだ

あつ♡

ああ♡  
膣内で吸い付いてくる  
感触が気持ちいいぜえ

お前のマンコは俺の  
大きなチンポが大好き  
なようだなあ…っ

あッ♡

はあッ

はあ

あの媚薬の残りを  
十分確保できれば  
他の女に使用して  
二人目の性奴隷を  
つくる事ができる

ああ…っ

あんっ♡

あッ♡

このはしたない  
淫乱な身体は

もう幼馴染のガキの  
チンポじゃ満足できねえ  
だろうよっ！

あんっ

はあ

はあ

はあ

あはッ

この雨宮美月と  
もう一人他の女を  
俺のものにできるなんて  
本当に最高じゃねえか

ああッ♡

あッ

あッ

あのすばらしい媚薬を  
開発してくれた奴らに  
最大限の感謝を贈るぜ



おゝ盛大に  
吹いたなあ♡

いい潮吹きじゃねえか  
俺のチンポがそんなに  
良かったのかあ？  
ハハハ…ツ

俺としては  
あの美人で巨乳の  
兩宮麗子に媚薬を使って  
母娘二人を性奴隷にして  
孕ませたいところだが…

しかしすでに兩宮麗子は  
学園長の獲物である以上  
俺が手を出せないのは  
本当に残念でならないぜ

まあ他にも犯りたい女  
の候補はあるから  
これから慎重に計画を  
進めていくとするか…

…ふわふわ…してた  
意識がしつかりと…  
戻ってきてるのに…  
身体の興奮と…快感が  
おさまらない…っ



はぁ…  
あぁ…

あ…あ  
はぁ  
はぁ  
ん…あつ

自分の本性にもう  
気づいてるだろ？

へへ…  
美月よお

はぁ…  
あぁ…

…なにが  
淫乱女よ…っ  
ふさげないでっ

すでに媚薬の効果は  
薄れているのに  
こんなにも無様に潮を  
吹いて絶頂してるのが  
その証拠だぜ

ん…んっ  
く…っ  
ムニツツ

お前は嫌悪する  
俺相手でも  
ふしだらに乱れ  
喘ぐ淫乱女だ

嫌だと言いながら  
マンコから愛液を  
垂れ流しにしてる  
じゃねえか♡  
あん…  
やめ…

ククク…  
下の口はそうは  
言っていないよう  
だがな

こんなこと…  
もう…嫌なの…っ

わ…私は…っ  
媚薬のせいで  
おかしくなった  
だけよ…っ！



お前がどれだけ  
否定しても  
意味ねえぞ

お前の恥ずかしい  
エロ画像は  
しっかりと録画して  
撮ってあるからな

今のお前は媚薬の  
効果が薄れて  
反抗的になってるが

媚薬が十分効いてる  
間は扱いやすい従順  
な女だったからな

当然お前も  
憶えているだろう？  
俺に言われたとおり  
素直に従って痴態を  
晒していたんだからな

……

はぁ

はぁ



!!

……そうだ……  
私は……

……ッ!

媚薬のせい……  
……心と身体が  
支配されて……

あ……ああ

……抗えなかつた

い……嫌……

ほらっ  
よく見てみる

ハハハ……ッ

自分からマンコを  
開いて曝け出す  
いやらしい女が  
映ってるぜ……っ

違う……っ  
私は自分から  
こんな……っ!

これなんかどうだ？  
いいアングルだろ

ディルドをずっぽり  
啜え込んだマンコと  
卑猥なアナルが  
バッチリ写ってるぜ♡

嫌…ッ！

消して…っ！  
早く…っ  
お願いだからっ！

何言ってるやがる  
消すわけねえだろ  
永久保存に  
決まってるだろうが

ほら、見てみるよ  
この自分のいやらしい  
淫らな姿を

学園の男どもがこれを見れば学園アイドルの  
雨宮美月が実は本当は  
淫乱な女だったんだと  
思うだろうぜ

この画像が外に  
拡散されれば  
お前はもう終わり  
だろうな

だめ…っ！  
そんなこと…絶対に  
許さない…っ！

安心しろ…お前が俺の女として服従する限りは

これらの画像を外に出すことはねえぞ

く…っ

だめ…っ  
こんな画像がもし拡散されてしまったら…

私…  
もう生きていけない…っ

…信じて…  
いいのね…?

俺は優しい男だからな自分の女の人生を壊したりはしねえぞ

ククク…  
これからもっと恥ずかしい映像は撮っていくけどな

美月…お前はもう俺の女なんだよ俺から逃れることはできねえぞ

わかったか?

幼馴染の元彼氏には自分から別れるように言えよ

…っ!

い…嫌よ…っ  
明人とは…  
別れない…っ!

…でも…っ  
…あなたには逆らわないから…  
それでいいでしょ?

…最悪…だけど今は…この男に従うしか選択肢がない…

でも…いつかここから逃げ出せるときがくるはず…

どうやらまだわかってないようだな



もう一度媚薬を使って  
お前を従順な女にして  
やりたいところだが…

…ッ!

媚薬…ッ  
だめ…っあれを  
使われたら…  
私またおかしく  
なっちゃう…っ

…しかし  
まあ  
いいだろう

今は拒否していても  
お前はいずれ恋人を  
捨てることになる



そして俺の女になった  
ことに幸せを感じるだ  
ろうぜ

こうして俺に乳を揉ま  
れても嫌悪ではなく  
快感を感じるだろう?

お前も心の奥底では  
もう既に俺を受け入れ  
身体を弄ばれることを  
望んでいるのさ

ちがう…  
私が…望んでる  
わけない…っ

…でも…快感には  
抵抗できなく…  
なってる…っ

お前はもう俺の女で  
この巨乳もそのエロい  
身体全てが俺のものだ

もう…やめ…っ

揉ま…ないで…っ

あっ♡

あんっ

母親譲りの  
美しい顔とこの巨乳…  
お前は誰もが羨む  
人生勝ち組の女だが

この先恋人の相手を  
選ぶことはできないぜ

絶対に俺から離れる  
ことはできない

お前も母親の麗子と  
同じくこれから先は  
性奴隷として生きて  
いくんだからな

ちよ…ちよっと  
まって…っ

ククク…

どういふことかと  
言われても  
言った言葉通りの  
意味だぜ

母さんと同じくって…  
それは…どういふこと  
なの…っ？

…母親と…同じく…？  
私と…母さんがって  
ど…  
どういふこと…っ？

標的にされたのは  
お前だけじゃないって  
ことだ…美月

私だけじゃなく…  
母さんも…なの…？

う…嘘よ…っ！

母さんまで…  
そんな…っ

…ッ！

今回の獲物はお前と  
母親の雨宮麗子だ

雨宮麗子もお前と  
同じように拉致さ  
れてるのさ

…本当に…母さんも  
私と同じように…  
捕まってるの…？

フフ…信じられない  
いや…  
信じたくないか？

お前の母親の  
あられもない姿が  
ここに写ってるぜ♡

く…っ

え…

お前が信じたくなくても  
こちらに送られてきた  
画像を見れば  
信じる気になるだろう

ほら、この画像を  
しっかりと見てみる



……ッ！

お……お……っ  
お母さん……ッ！！

お前と同じように  
雨宮麗子も  
すでに性奴隷調教が  
はじまつてるようだぞ



ほ……本当に……  
うそ……こんな……  
は……裸の……

私と……同じように  
お母さんまで……っ

なんで……  
なんで……私と  
お母さんが……  
こんなことだ……っ



おん……

こんなもの  
許せない……

さ……  
最低だわ……

すぐに……  
母さんを  
解放して……

はやく……

ククク……  
解放するわけねえだろ  
お前から母娘は  
これからは性奴隷として  
生きていくんだからな



ハハハ……

なんとかして  
母さんを……

私が……  
助け出さないと……

……

性奴隷に調教された  
淫らな母親と  
会わせてやるぜ♡


おとなしく俺に  
従っていけば  
いずれ会えるだろう

——学園教師の剛田に  
捕えられ監禁されてから  
私は剛田に服従を強要され  
そして淫らで恥ずかしい  
調教を受けていた……

閉ざされた室内に  
監禁されているせいで  
今が昼なのか夜なのか  
どれくらいの時間が  
経過したのかも  
私にはわからない

……ただ時間が経てば  
明人が異変に気付き  
警察に連絡をして  
私達母娘を助け出して  
くれるかもしれない……

明人からの救出に  
一縷の望みを託しつつ  
もし助けが来ないようなら  
私が母さんを何とかして  
助け出さないと……




突然…満面の笑みを浮かべた  
剛田に学園の制服を渡され  
それを着るように命令された

いいぞ、美月い  
よく似合ってる  
じゃねえか

普通の学園の制服とは違って  
胸の部分が無い卑猥な学生服…  
それを着用して剛田の指示に  
従いポーズをとって撮影される

当然嫌だけど…今の私に  
この男の命令を拒否する  
ことはできない



すでに色々と恥ずかしい  
画像を撮られてるせい  
か抵抗心も薄くなり…

そうだ…しっかり  
見えるようにしろ  
そのまま動くなよ…っ

すごくいいぜ…  
マンコもアナルも  
バッチリ撮られて  
いい感じだ

私は彼の指示通りに従い  
エッチでいやらしい  
ポーズをとっていく

お尻にこんなものを  
挿れているところを  
撮られるなんて…

とても恥ずかしくて  
死にそうだけど  
今は耐えるしかない…

どれだけ恥ずかしい画像  
を撮られたとしても  
この男が警察に捕まれば  
撮られた画像は外に流出  
しないのだから…っ

…もしもこの画像が  
外に流出してしまったら  
私はもう終わり…

しかしほんとに  
エロくて綺麗な  
マンコだ

ハハハ…っ  
アナルビーズが  
エロさを際立たせて  
すごくいいぜ

俺の美月は  
エロモデルとして  
最高だな♡

お前のマンコ見てたら  
また興奮してきたぜ

すぐにまたセックスを  
再開してそのエロ穴に  
チンポをぶち込んでやる  
からな

この外道に必ず法の  
裁きを受けさせる…っ

だけど絶対にそうは  
させない…っ  
死んでもそれだけは  
阻止しないと…

今までと  
違うのは…

ほらほら…  
しっかりと  
マンコ弄って  
オナニーしろよ

ん…んっ

んっ♡

くう…っ

スマホではなく  
ビデオカメラで  
撮影されていると  
いうこと…

お前がオナニーで  
イクところを  
撮影してんだから  
手を抜くんじゃねえぞ

んうっ♡

お尻にアナルピースを  
挿れたままオナニーする  
ことを強要された

チヌッ♡  
チヌッ♡  
チヌッ♡

手を止めるなよ…っ  
イクところをみせろっ！

私がオナニーや  
セックスしている  
ところをずっと撮影  
するつもりなの…？

ああっ♡

あっ♡

カメラで…撮られ  
ていると思うと…  
余計に…緊張して  
感じちゃう…っ

イ…クっ♡

ああっ♡



はあっ♡

あ…あんっ

学生服姿のお前を  
犯してやりたいから  
わざわざその服を  
用意したんだぞ

ああ…っ

あっ♡



あんっ♡

あっ♡

学生服姿のお前を  
見てると興奮度が  
増すぜ…っ

学校で会うたびに何度  
お前を強姦してやろう  
かと思っただことか

私がオナニーでいった  
あとすぐに…興奮した  
剛田が私に襲いかかり  
もう何度目かになる  
セックスがはじまった

ああっ♡



あァッ

あっ♡

あんっ♡

ああっ♡

こんな下劣なクズ男に  
私は抵抗もできず  
弄ばれるしかないのね



これからはもっと  
色々な衣装を着せて  
楽しませてもらうぜ

コスプレセックス  
ってやつだ

この…  
変態…っ



あぁっ♡

ゆっ

あ…あんっ

ゆっ

次はバニーの衣装を  
用意しねえとな

お前にすごく  
似合うと思うぞ

あッ♡

ゆっ

あはぁっ♡

ゆっ

はぁっ  
い…  
嫌よ…っ  
はぁ  
あ…あ  
はぁ

そんなの…  
着たくない…っ

あッ♡

はぁ  
はぁ  
あッ♡

ズッ  
チュッ  
ズッ  
チュッ

オイオイ  
お前に拒否権は  
ないぞ

あんっ♡

あッ

あんっ♡

あぁっ♡

なんでこの男のために  
そんなものを着ないと  
いけないのよ…っ

お前は俺のものだ  
俺がそれを着ろといえ  
素直に従えばいいんだよ

拒否しても  
無理なのは  
わかってる…

あぁっ♡

あっ♡

何を着させられるに  
しても今の私は従う  
しかない…

色々なエロ衣装を  
調達しないとつけ  
ねえな♡

あ…っ♡

あんっ♡

あッ♡

はぁっ

ま…っ

激しく揺らさ  
ないで…っ

よおし…っ  
もう射精するぞ…っ

あ…あぁっ  
だめえ…っ♡

あぁっ♡

イクっ♡

学生服姿の美月に  
膣内射精しだ…っ！

あはぁっ

あ…あぁっ♡

あぁっ♡

ハハハ…っ  
お前も一緒に  
イケたようだな♡



射精した後も  
剛田は休むことなく  
私のお尻を執拗に  
責めて弄ってくる…

あんっ♡

ああっ♡

んぐっ♡

んぐっ♡

あはあ♡

んあっ

んうっ

んあっ♡

あアッ♡

ズホッ

このアナルで快感を  
感じるためにも

どうだあ？  
気持ちいいか？

こうしてしつかりと  
ここを開発調教して  
おかねえとな♡



…お尻を弄られるなんて  
気持ち悪いはずなのに…  
私はいつの間にか…快感を  
感じるようになってる…

美月の可愛いアナルを  
こうやって弄って  
気持ちよくしてくれる  
のは俺だけだぜえ♡

ひあっ♡

あんっ

ああ…つもう…  
いいでしょ…つ

そんなに…お尻を  
弄らないで…つ

あっ

だ…だめえっ

ああっ♡

あ…あっ♡

鏡に映る今の自分の姿を見るのはとても恥ずかしい…

んうっ

ん…っ

く…っ

ブル

ブル

ムニョッ

ムニョッ

ムニョッ

ワッパッ

ワッパッ

嫌いな男に身体を縛られて胸を揉みしだかれてはいやらしい自分の姿がそこに映ってる…

やっぱり女をこうして拘束するのはいいな、手の自由を奪うってのがそそられていいぜえ

ウイイイ…

さて…  
またこいつを挿れてもらうぞ

今度は写真ではなく動画として撮影するからな

あっ♡

ああ♡

はあ

ああっ

だめ…っ  
こんな…っ

ああ…っ  
嫌…っ

ああッ♡

ああん…っ

あ…あ♡

すでに縛られてこういうものを挿れているところを…写真で撮られていたけれど…

今回はこんな姿を…動画で撮影するなんてほんとにこの男は最低なことをする…っ



さあ、お次はこいつの出番だ

ああつ♡

こいつの強い刺激で快感を覚えればお前もすぐにこれにやみつきになるぜ♡

ああつ嫌…っ  
それ…だめえっ

あッ♡

私の知らない未知の刺激と快感…この男によって私の身体はどんどんいやらしく開発されちゃう…

ひあつ

あつ♡



感じやすいお前の敏感な身体には

この電マの刺激はかなり効くだらうな

んんん

んんん♡

ぐんぐん♡

あ…ああつ

んあつ

ほら、見てみろよ  
愛液がどんどん溢れ  
出してくるぜえ♡

あつ♡

いやらしい汁を  
こんな大量に  
溢れさせて

ほんとに  
お前のマンコは  
はしたないな

ビキヤツ

ガハガハ

ビキヤツ

ビクッ

あはあ♡

ああツ♡

んああつ

あ…ああ…つ♡  
お…お願い…つ

あんっ

んあつ

あはアツ♡

ああツ♡

あアツ

ビクッ♡

ビクッ♡

もうだめ…  
止めてえ…つ

止めるわけねえだろ  
お前はこの電マの  
刺激と快感で  
何度もイキまくれば  
いいんだよ…つ

あツ♡

ああツ♡

ガハガハ



こうして後ろからやると  
犯している感覚を存分に  
味わえて支配欲が満たさ  
れていいな…っ

休むことを許されて  
私は眠りにつき…  
そして起きたら  
また剛田に無理やり  
セックスを強要される  
その繰り返し…

これだけセックスすると  
この男と性行為する事が  
当たり前のような感覚に  
なってきた  
私はそれが本当に怖い…

それにこの体勢なら  
お前の可愛いアナルが  
バッチリ見えるぜ

あはあ♥

ああんっ

あっ♥

ブルブル

あんっ♥

あッ

ああッ

はあ

はあ

はあ

んあッ

ガクッ

ガクッ

ブルブル♥

あ…っ  
や…やだ…っ

あッ

だめ…っ  
見ないで…っ

あんっ♥

あっ♥

ガクッ

ガクッ

ハハ…ッ  
何が見ないでだ

ズッ  
ズッ  
ズッ

いまさら気取って  
んじゃねえぞっ

あッ♡

あ…ああッ

あんっ♡

あはあッ

あッ♡

俺の女であり  
性奴隷のお前は

ああッ♡

あアッ♡

マンコもアナルも全部  
見られてあたりまえの  
立場ということ覚えて  
おけよ…っ

あはあ♡

あんッ♡

お前の身体全てが  
俺のものだからな

ああ…だめ…っ  
そんなに激しく  
突かないでっ

ああッ♡

性奴隷…下劣で  
最低な言葉だけど  
否定できない…っ

あッ♡

はあ

はあ

あ…ああ

たしかに今の私は  
この男に性奴隷の  
ような扱いを  
受けているから…





また私は剛田に無理やりキスをされてる…  
明人とする時とは全然違う強引で乱暴なキスを…

はじめてキスを強要されてから…  
そのあと何度もこの男と舌を絡ませる濃厚なキスをしていた

嫌悪感の強い長い時間の執拗なキスは本当にこの男の最低な人間性をよく表していると思う

なんとなくだけど…この不快なキスには私を自分のものだとわからせるかのようなそんな嫌悪感がする

あ…はあ

ん…んっ

ピチャッ  
はあ

はあ

あ…んっ

はあ

ピチャッ  
びちゃっ

ん…あん

はあ

あはあ…

ちゃはっ

んあ…っ

はあ

はあ

あ…あっ

ピチャッ

ん…んっ

ん…ふっ

んく…っ

ちゃはっ

ちゃはっ

ん…んう

ほら…もつと俺の唾液を飲めよ…美月い♡

へへ…

んっ

んん…っ  
あ…嫌あ…っ

んうっ

はあ

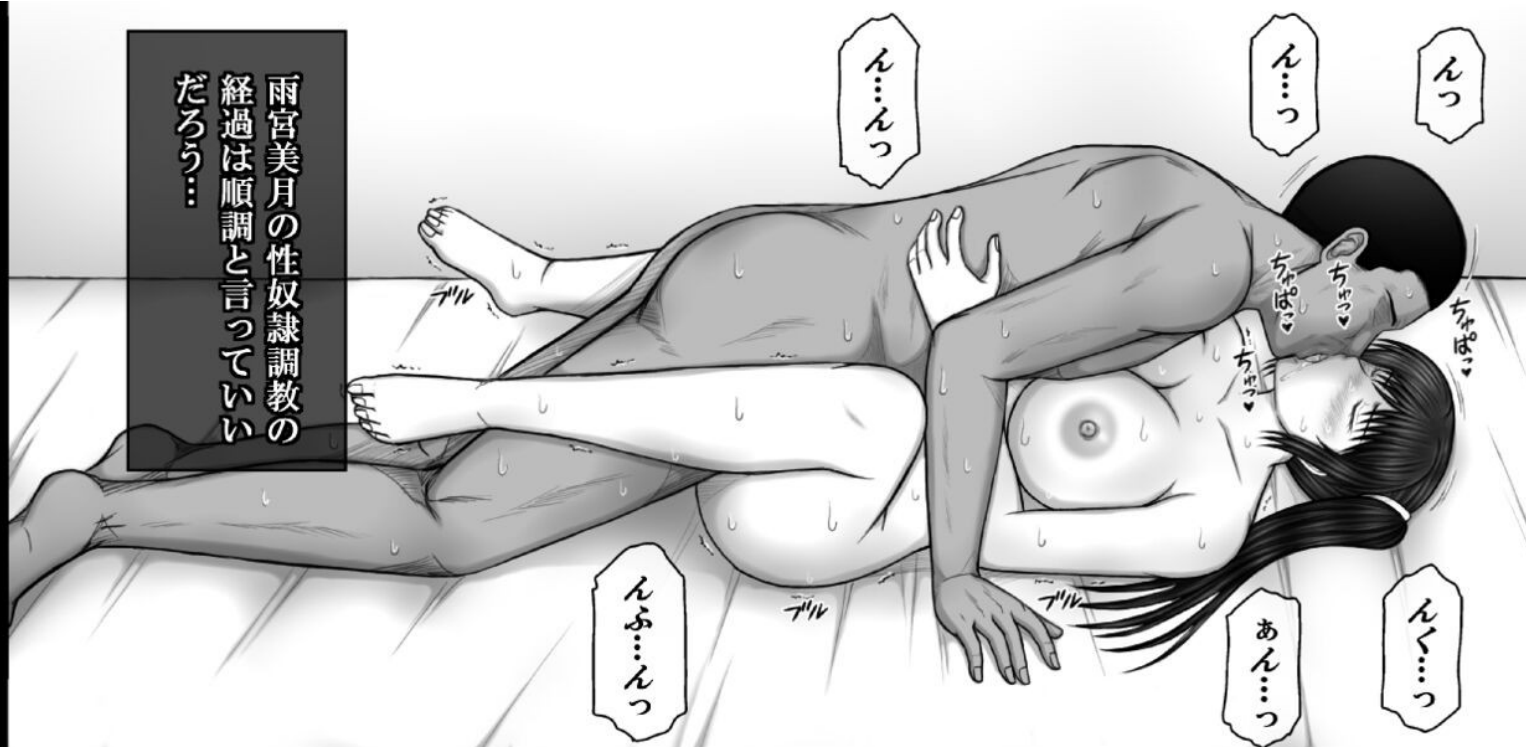
はあ

んうっ

あ…はあ

あん…ん

んう…もう…  
飲ませ…ないで



雨宮美月の性奴隷調教の経過は順調と言っているだろう…

ん…んっ

ん…っ

んっ

んふ…んっ

あん…っ

んく…っ



今は媚薬の効果も切れて自分を取り戻し俺に対しての反抗心はかなり強くなっているが覚え込ませたセックスの快感は確実にこいつを淫らな女に変貌させている

気持ちいいかと聞いてんだよっ美月いっ!

いいかっ?

あっ♡

あはあっ

あんっ♡

あ…あんっ

…っき…気持ち…いいっ

あ…っ♡  
あ…っ♡



雨宮麗子がこちらに捕らえられてしていると知った事で母親のためにも自暴自棄になつたり俺への無謀な抵抗はできなくなつたはずだ

あ…あ…あ…っ♡  
もう…だめっ

あんっ

あ…あ

あ…あ

まだまだ…っ

お…お願い  
休ませて…っ

お前がもつと  
イクまで休ませ  
ねえからなっ

媚薬の消費は抑えたいが  
しかしある程度は媚薬を  
使用して調教しないと  
こいつがそのまま反抗心が  
強く服従心が低いようでは  
まずいことになる…



あ…何…あん  
言ってるのよ…っ

随分と俺の  
チンポに馴染んだ  
ようだなあ♡

オイ…っ  
俺のチンポがお前の  
マンコに完全に  
フィットしてるのが  
わかるか？

な…馴染んで…  
なんて…ない…っ

あ…あ

んっ

あんっ♡

調教期限が過ぎれば  
学園長にしばらく美月を  
譲渡するのだから  
しっかりと性奴隷調教の  
成果を見せないと  
学園長の俺への評価が  
下がってしまう



もつと子宮を突いて  
くださいと言えっ！

子宮…突いちや  
だめえ…っ

あはあっ

あんっ♡

い…嫌…っ

あッ♡

俺に素直に  
お願いしろよ

あ…あっ

ギッ

とにかく期限まで  
この監禁部屋で毎日ずっと  
ハードな調教をして  
主人である俺に性依存する  
淫乱なメスに変えてやる



期日まで十分な日数が  
あるからな  
お前を徹底的に調教して  
楽しませてもらうぜ  
美月♡

そうだ…いいぞ  
しっかりと  
腰を振れよ

あ…あっ

あッ♡

あんっ

あ…はあ♡

ああっ♡



こんな…淫らな姿  
…絶対に明人には  
見せられない…っ

あっ♡

んあっ

あッ♡

あ…あん

はあ♡

ほらほら…っ  
イクまで腰を  
振り続けるよ

ぢゅぽっ

ぢゅぽっ

ぢゅぽっ



私は一心不乱に…この  
嫌悪する相手の上で  
激しく腰を振っている

あっ♡

ああッ

あああッ

あんっ♡

あん♡

あアッ

ああ♡

あん♡



こんな男と…セックス  
するのは嫌なのに…  
でも…すごく…快感を  
感じて…気持ちよくて  
…それが悔しい…っ

ああッ

あっ♡

んあッ

あっ♡



ズポッ

ズポッ

ズポッ



媚薬の効果は…もう無いはずなのに…どうして…こんなに快感を感じるの…?

あつ♡

あぁッ♡

あんっ♡

あッ♡

ああんっ

いいぞ…っ  
その巨乳がもつと  
揺れ弾むくらい  
積極的に動けよ

早くイカないと  
お仕置きするからな

あんッ♡

あ…はあっ

嫌でも…すぐに  
いつちやう…ッ

さあ、俺にお前の  
エロいイキ顔を  
見せてくれよ

この大きなモノで  
臆奥おくを突かれて…  
こんな強い快感を  
受け続けたら…

あアッ♡

グニャッ♡

グニャッ♡

あはアッ♡

あアッ♡



最高のビデオ  
映りになるぜ♡

この体位なら俺と  
お前が繋がってる  
のがよくわかって

あぁッ

あっ♡

あっ♡

嫌あッ

あはあ♡

あんっ♡

あ...あッ

あぁッ

あっ♡

あぁッ

ひあッ♡

この体位でお前が  
絶頂して潮を吹く  
ところを

俺と美月が  
愛し合ってる姿を  
見せつけようぜっ

あはあッ♡

しっかりと撮って  
おかねえとな...っ


あッ♡

ハハハ...ッ

あんっ

ズッ  
チッ  
ズッ  
チッ





学園長の計らいで俺は  
しばらく教師の仕事を  
休み雨宮美月の調教に  
専念することになる

監禁して調教するため  
雨宮美月も学園には登校  
しないことになるが  
それに関しては学園長が  
なんとかごまかして処理  
してくれるだろう

雨宮美月と雨宮麗子の  
母娘二人を監禁調教するため  
二人は当然消息不明になるわ  
けだが  
今まで何人もの女を拉致して  
性奴隷にしてきた学園長の  
裏組織ならそこらへんは任せ  
て安心だな

あとは美月をしっかりと  
調教して性奴隷にすることだ…  
このままずっと手元に置いて  
可愛がってやりたいところだが  
しばらくは学園長に譲渡して  
裏の客の奉仕奴隷としなければ  
ならないのは本当に残念だ…

媚薬を追加で貰うには  
あの高い金額もあるが  
私用で使うという理由では  
許可されないため  
俺が他の女に使う場合は  
美月に使用する分を  
何とか抑える必要がある

とりあえずは媚薬の使用を  
抑えて調教を完了させないと  
いけない：  
すでに身体のほうは快楽に  
支配されて堕ちているように  
みえるし  
このまま問題なく美月を  
性奴隷にできるだろう

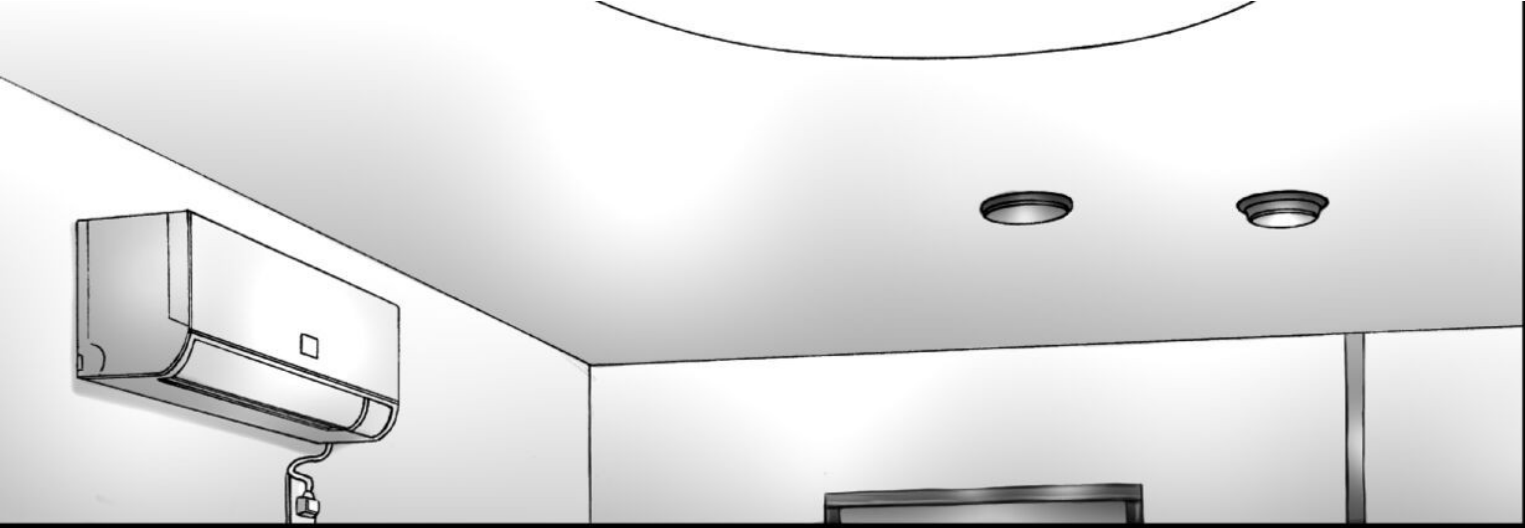
あとは俺個人で他の女を  
拉致監禁してあの媚薬で  
性奴隷にしまえばいい  
：組織の協力なしではかなり  
危うい事だが慎重に計画的に  
実行すればいけるはずだ

美月を渡したあと  
俺の元に戻ってくるまで  
その性奴隷にする女を  
調教して楽しめば俺の  
性生活は充実したものに  
なるだろうな…



時は遡り  
雨宮麗子捕獲後  
調教開始直前！





ククク...

私に従順に奉仕する  
性奴隷にしてやるぞ  
雨宮麗子...

今日からお前は  
私のものだ...これから  
じっくりと可愛がって  
やるからな



美しい...

やはり髪を結わずに  
下ろしたほうが  
私の好みでいいな

しかし  
この若々しい綺麗な肌に  
ハリのある巨乳...  
とても子持ちとは思えん

